



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月3日

上場会社名 日特エンジニアリング株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6145 URL http://www.nittoku.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 近藤 進茂
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理本部長 (氏名) 磯田 博 (TEL) 048(837)2011
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績 (平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	15,778	0.5	1,671	38.6	1,816	36.8	1,242	5.4
28年3月期第3四半期	15,707	2.1	1,206	△31.9	1,327	—	1,179	△0.3

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 1,439百万円(33.0%) 28年3月期第3四半期 1,082百万円(△43.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	68.78	—
28年3月期第3四半期	65.27	—

(注) 従来、「固定資産売却損」及び「固定資産除却損」は「特別損失」に表示しておりましたが、平成29年3月期第1四半期連結累計期間より「営業外費用」に含めて表示しております。平成28年3月期第3四半期連結累計期間については、遡及処理後の数値を記載しております。当該遡及修正が行われたため、平成28年3月期第3四半期の「経常利益」の対前期増減率は、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	29,859	22,047	73.7
28年3月期	27,832	21,113	75.7

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 21,992百万円 28年3月期 21,061百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	14.00	—	14.00	28.00
29年3月期	—	14.00	—		
29年3月期(予想)				14.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想 (平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,000	4.8	2,900	57.0	2,950	45.4	2,000	27.0	110.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) — 、除外 一社(社名) —
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期3Q	18,098,923株	28年3月期	18,098,923株
② 期末自己株式数	29年3月期3Q	30,896株	28年3月期	30,750株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期3Q	18,068,128株	28年3月期3Q	18,068,230株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループの戦略的エリアは、自動車、情報通信、家電、産業機器、医療関連などで、その大半の製品・部品メーカーがグローバルかつハイスピードで変化するマーケットで競争を激化させております。

近年、設備業界では、制御やITの開発に伴ってFA設備の自動化、精密化が求められるようになりました。さらに、工場のIoT化、クラウドの普及、AIの発達で工場の無人化への動きもスタートしており、製品・部品メーカーの生産性は、製品・部品の品質確保も含め、FAライン設備の性能、機能などの完成度に大きく左右されるようになってきております。

これまでの設備メーカーは、得意分野に集中し、最終製品メーカーがそれらを合わせてライン構築するというビジネスモデルでした。当社グループは、コア技術や要素技術を開発し、ノウハウを生かしたコイルやモーター生産の精密化、高度化、小型化、微細化から、システム化、ライン化やFAタグの開発などにも取り組み、進化することで、専用の巻線FAラインを一貫して提供するメーカーとなりました。加えて、テンション、繋げる、塗る、制御などの技術によりワイヤー、ケーブル、コネクタ、フィルムなどのFAラインも開発、提供しております。さらに、ラインの開発だけでなく、トレーサビリティ、メンテナンス、デファクトスタンダードなどを含めたインテグレーションを構築、提供することも目指しております。

当第3四半期連結会計期間では、長年の研究開発で蓄積した技術、ノウハウを利用して自動車業界向けに開発した独自のEVモーターの新工法を完成車メーカー、モーターメーカーに提案し、今後、新工法を利用した生産設備の開発を進めるとともに従来工法の改良による設備と併せて、EVモーター用生産設備のグローバル展開を図ってまいります。

また、スマートフォン業界は、ここ数年、中国メーカーの躍進があり、シェア競争は激しさを増しております。先行メーカーは主に機能の進化で差別化を図る一方、後続メーカーは価格競争に注力する傾向にあります。また、サプライヤーは、生産性の向上、品質確保や部品の微細化、あるいは賃金上昇対策、労働条件の厳格化への対応などのため自動化した精密生産一貫ラインの導入を指向しております。

そのような設備指向の変化を受け、当社は、中国の大手部品メーカーより大型案件、総額約60億円を受注いたしました。本案件は、中間設備を入れ替えられる複数のFA一貫ラインで、ユーザー側の生産品種の変更に対応可能とすることで大型受注となったものです。なお、本案件は、売上時期が来期となる見込みのため、現時点で本案件による平成29年3月期業績予想の修正はありません。

これらの結果、売上高は157億78百万円（前年同期比0.5%増）、営業利益は16億71百万円（前年同期比38.6%増）、経常利益は18億16百万円（前年同期比36.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は12億42百万円（前年同期比5.4%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

(巻線機事業)

全売上高の約91%を占める巻線機事業におきましては、前述の結果、連結売上高は144億11百万円（前年同期比2.4%減）、セグメント利益（営業利益）は20億61百万円（前年同期比25.6%増）となりました。なお、当社個別ベースでの受注高は206億87百万円（前年同期比53.5%増）、売上高（生産高）は129億24百万円（前年同期比1.3%減）、当第3四半期末の受注残高は159億40百万円（前年同期比79.9%増）となりました。

(非接触ICタグ・カード事業)

非接触ICタグ・カード事業におきましては、前年度から受注増加傾向が続いており、これらの結果、連結売上高は13億67百万円（前年同期比44.6%増）、セグメント利益（営業利益）は2億70百万円（前年同期比75.9%増）となりました。なお、当社個別ベースでの受注高は14億81百万円（前年同期比44.2%増）、売上高（生産高）は13億67百万円（前年同期比44.6%増）、当第3四半期末の受注残高は3億87百万円（前年同期比21.5%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は前連結会計年度末対比15億83百万円増加し、233億34百万円となりました。これは主として、現金及び預金が20億23百万円増加したことによります。

固定資産は前連結会計年度末対比4億43百万円増加し、65億24百万円となりました。これは主として、投資有価証券が3億54百万円増加したことによります。

この結果、資産合計は前連結会計年度末対比20億27百万円増加し、298億59百万円となりました。

(負債)

流動負債は前連結会計年度末対比9億93百万円増加し、73億29百万円となりました。これは主として、支払手形及び買掛金が5億68百万円増加したことによります。

固定負債は前連結会計年度末対比99百万円増加し、4億82百万円となりました。これは主として、繰延税金負債が80百万円増加したことによります。

この結果、負債合計は前連結会計年度末対比10億93百万円増加し、78億11百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末対比9億33百万円増加し、220億47百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の数値は、今後のさまざまな要因により異なる結果となる可能性があります。なお、平成28年5月13日に公表いたしました通期業績予想から修正は行っていません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

当第3四半期連結累計期間
(自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)

(会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,419,549	12,442,578
受取手形及び売掛金	6,255,786	5,560,442
仕掛品	3,309,222	4,061,613
原材料及び貯蔵品	602,862	611,618
繰延税金資産	486,518	180,744
その他	703,669	501,336
貸倒引当金	△26,295	△23,542
流動資産合計	21,751,313	23,334,791
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,898,138	1,885,236
機械装置及び運搬具(純額)	600,727	546,720
土地	667,893	667,893
その他(純額)	285,455	389,654
有形固定資産合計	3,452,214	3,489,505
無形固定資産		
のれん	49,004	37,696
その他	95,722	153,910
無形固定資産合計	144,727	191,606
投資その他の資産		
投資有価証券	1,667,653	2,022,532
その他	816,099	820,726
投資その他の資産合計	2,483,752	2,843,259
固定資産合計	6,080,695	6,524,371
資産合計	27,832,008	29,859,163

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,473,018	5,041,162
未払法人税等	50,125	275,329
賞与引当金	395,063	271,252
その他	1,417,637	1,741,856
流動負債合計	6,335,845	7,329,600
固定負債		
繰延税金負債	97,070	177,818
退職給付に係る負債	80,794	100,014
その他	204,476	204,476
固定負債合計	382,341	482,309
負債合計	6,718,187	7,811,909
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,884,928	6,884,928
資本剰余金	2,542,054	2,542,054
利益剰余金	10,878,560	11,615,308
自己株式	△23,603	△23,802
株主資本合計	20,281,939	21,018,488
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	286,090	526,888
為替換算調整勘定	606,786	522,358
退職給付に係る調整累計額	△113,181	△75,429
その他の包括利益累計額合計	779,695	973,818
非支配株主持分	52,186	54,946
純資産合計	21,113,821	22,047,253
負債純資産合計	27,832,008	29,859,163

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	15,707,063	15,778,863
売上原価	11,670,065	11,198,241
売上総利益	4,036,997	4,580,621
販売費及び一般管理費	2,830,431	2,908,658
営業利益	1,206,566	1,671,962
営業外収益		
受取配当金	30,902	31,540
為替差益	21,836	40,145
その他	79,314	82,080
営業外収益合計	132,053	153,767
営業外費用		
減価償却費	4,790	4,225
その他	5,981	4,509
営業外費用合計	10,772	8,734
経常利益	1,327,847	1,816,995
特別利益		
固定資産売却益	387,244	—
特別利益合計	387,244	—
特別損失		
減損損失	16,208	—
特別損失合計	16,208	—
税金等調整前四半期純利益	1,698,883	1,816,995
法人税、住民税及び事業税	59,313	284,292
法人税等調整額	453,289	288,228
法人税等合計	512,603	572,521
四半期純利益	1,186,280	1,244,473
非支配株主に帰属する四半期純利益	6,968	1,817
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,179,311	1,242,655

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益	1,186,280	1,244,473
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	67,476	240,797
為替換算調整勘定	△144,486	△83,484
退職給付に係る調整額	△26,571	37,752
その他の包括利益合計	△103,581	195,064
四半期包括利益	1,082,699	1,439,538
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,081,305	1,436,778
非支配株主に係る四半期包括利益	1,393	2,760

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	巻線機事業	非接触 I C タグ・ カード事業	
売上高			
外部顧客への売上高	14,761,483	945,580	15,707,063
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	14,761,483	945,580	15,707,063
セグメント利益	1,641,741	153,644	1,795,385

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,795,385
全社費用(注)	△588,819
四半期連結損益計算書の営業利益	1,206,566

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	巻線機事業	非接触 I C タグ・ カード事業	
売上高			
外部顧客への売上高	14,411,706	1,367,157	15,778,863
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	14,411,706	1,367,157	15,778,863
セグメント利益	2,061,868	270,279	2,332,147

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	2,332,147
全社費用(注)	△660,185
四半期連結損益計算書の営業利益	1,671,962

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。